

令和4年度 国際委員会活動報告

国際委員会資料 2022 年度上半期活動報告

担当理事：菱木 知郎 副担当理事：康 勝好

委員長：岡本 康裕 副委員長：富澤 大輔

委員：上原 秀一郎、加藤 格、七野 浩之、野上 恵嗣、森 哲也

オブザーバー：高橋 義行

(1) 学術集会日韓ジョイントセッション

- ・2022 年度の第 64 回学術集会における日韓ジョイント・シンポジウムのテーマは血友病である。

日本側の演者として、野上恵嗣先生（奈良県立医科大学小児科）、矢田弘史先生（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科）、韓国からは Dr. Eunjin Choi (Daegu Catholic University)、Dr. Yejee Shim (Keimuung University Dongsan Hospital) がそれぞれ選出され、学会 3 日目の 2022 年 11 月 27 日に開催される予定である。

- ・2023 年度の第 65 回学術集会日韓ジョイント・シンポジウムのテーマは、Comprehensive Genomics in Childhood Cancer と決まり、シンポジストの選定はこれから行う予定である。

(2) 韓国小児血液がん学会(KSPHO) からの演者推薦依頼

- ・KSPHO から本学会あてに、2022 年 10 月 21 日にソウルで開催された KSPHO 学術集会の JSPHO/KSPHO joint symposium のテーマは Germ Cell Tumor で、下記 2 名を本学会から推薦し、シンポジウムが行われた。

頭蓋内 germ cell tumor：荒川芳輝先生（京都大学脳神経外科）

頭蓋外 gem cell tumor：荒川ゆうき先生（埼玉県立小児医療センター）

(3) WHO 小児がん Project

WHO が 2018 年からの取り組みとして WHO Global Initiative for Childhood Cancer の project を立ち上げている。日本小児血液・がん学会 (JSPHO)、日本小児がん研究グループ (JCCG)、および国立国際医療センター (NCGM) との連携のもと、2021 年 1 月 27 日からカンボジアで小児がん診療に従事している嘉数真理子医師と web を通じて症例検討を継続している。2022 年 4 月～10 月までに、症例検討を 12 回実施し、合計 47 例について検討した。

(文責：鹿児島大学小児科 岡本康裕)